



☆こんなことやりたいな! ☆ ~子ども会総会~

5月17日(土)古牧公民館で古牧地区子ども会総会が開催されました。各地区の子ども会長たちが、今年1年間の活動に向けての計画や目的などを発表しました。

発表の中では「こんなことやりたいな!」というタイトルに沿って、それぞれ自分の地区で計画されている行事、また、その中で自分がどんなことをやりたいかなどの発表がありました。

もっとも多かったのは夏祭りで「わなげ」「射的」「スーパーボールすくい」といった内容のほか「スタンプラリー」「ジェスチャーゲーム」「文字さがし」など、子ども会ならではの催し物が出されました。各地区の子ども会長から「みんなが楽しめるようにしたい」「交流を深めたい」という思いが伝わっ



てきました。

発表を受けて参加していた各地区小学校支部長の皆さんからは「とても楽しそうな活動ばかりでした。今年1年間楽しみにしています。」といった感想が述べられました。会の中では教養文化部長から『子ども会10ヶ条』に掲げられている「大きく ハッキリ 元氣よく あいさつしよう」という目標も再確認されました。(青少年育成部)

健康づくりのポイントとは? ~福祉推進員研修会~

令和7年度第1回目の福祉推進員研修会が5月15日(木)古牧公民館で開催されました。第1部は、三陽保健センター所長補佐で保



健師の根津洋子様、保健師の山岸小夏様、同山口莉穂様に「古牧地区の健康づくりのポイントとは?」と題してご講演をいただきました。高血圧は様々な疾患の原因となるので、毎日血圧を測定して記録しておき、それを主治医に見せることで適切な診断につながるとのこと。

次に、高血圧の原因の一つが塩分の取り過ぎにあるとのご指摘をいただきましたが、参加者からは「塩分控えめは分かっているが、実践が伴わなくて…」との声も聞かれました。

次頁へつづく

第2部は、長野市社会福祉協議会地域福祉課の保谷佑加様から「福祉推進員の役割について」と題してご講演をいただきました。

皆で連携しながら問題を解決しようとするのが地域福祉であり、福祉推進員の役割は、周囲の出来事に「気づき」、問題を「受けとめ」、次に「つなぐ」こと。

また、サロンの効果は、「集う」「定期的外出」「仲間と楽しい時間を共有すること」にあり、自宅以外に居場所のあることが大事とのことでした。



研修会の参加者は各区の福祉推進員など50名で、うち新任が約7割。皆さん熱心に講演を聞いておりました。ぜひ今後の地域活動に生かしてほしいと思います。

(福祉健康部)

地域の環境美化に協力を ～春のごみゼロ運動～

古牧地区では『春のごみゼロ運動』に合わせて各区で環境美化活動が行われました。

西和田区では5月11日(日)に区民参加のもと区内の用水路の清掃、周辺の草刈りなどの環境整備が行われました。

当日は天候にも恵まれスコップ、草刈り鎌などを手に用水路の泥上げ、雑草の処理、周辺の落ち葉などのゴミ拾いを皆さんに積極的に取り組んでいただき区内の環境を整備することができました。

以前に比べ用水路も泥以外のものも減り、綺麗になってき

ました。区民の皆様一人ひとりの意識のおかげできれいな町づくりに協力していただいております。

これからも古牧地区にお住まいの皆さんは環境整備に関心を持っていただき地区の環境美化に努めていただきたいと思います。

(環境美化部)



5月11日 早朝の集合の様子

元気よくあいさつ!! ～あいさつ運動～

5月7日(水)から20日(火)まであいさつ運動が行われました。各地区の役員の方々や地域ボランティアの皆さまにご協力をいただき、子どもたちの登校を見守りながらあいさつや声かけをする活動として毎年この時期に実施されています。

連休明けで少し元気のなかった子どもたち、近所のおじさんおばさんから「おはよう、気をつけて行ってらっしゃい」と声をかけられると、下を向いていた顔が上を向き少し笑顔になって登校していく姿が見られました。

次頁へつづく

参加した役員からは「元気よくあいさつを返してくれる子が多くてうれしかった」といった声とともに「あいさつ運動としてだけでなく、登校の安全を見守る活動にもなっ



た。道路の横断や車の通行で危険な場所があらためてわかってよかった」などの感想が聞かれ、あいさつを啓発するという面だけでなく安全指導の機会にもなっていたようです。

地区によっては役員の減少などから活動への人員不足が課題になっているところもあります。それぞれの実情に合わせて今後もあいさつ運動が継続され、子どもたちが地域の人たちに見守ってもらっているのだと感じられる朝になってほしいです。

(青少年育成部)

高齢の皆さんが健康で元気に ～介護予防に向けた活動～

5月30日（金）古牧公民館集会室で各区が行っている高齢者を対象とした健康体操などを指導する皆さんの養成講座が開催され35名が参加しました。

講師は、ほんわか応援隊の皆さんが務め、初めての参加者やそして既に指導をしている皆さんが体操の技量を高めるため熱心に受講していました。

各区では、高齢の皆さんが寝たきりにならないように介護予防活動の一貫として健康体操などを行っており、体操を指導する皆さんは養成講座に出席し技能の習得と向上を図っております。

また、各区では健康体操のほかボール



ウォーキングや健康マージャンなどを行っているところもあります。

今年度も各区で介護予防に向けた活動が開催されます。区により活動内容、開催日などは違いますので参加を希望される皆さんはお住いの地区の役員、福祉担当者または、古牧ボランティアセンターにお問い合わせください。

ご自身の健康維持のために積極的にご参加ください。

問合せ先：古牧ボランティアセンター
TEL：244-8159

(ボランティアセンター)

秋葉神社(古宮)

古牧郷土史研究会 太田 和行

東西約20m、南北約16mの境内地に高さ約3mの石祠がある。これが火伏せの神として崇敬されている秋葉社である。

この地は古来より和世田神・保食命・火見命が鎮座していた所で古宮と呼ばれている。

社殿は室町時代の中頃、落雷により焼失したと伝えられている。

その後、村人が協議し東方に鎮座していた諏訪明神(現在の和世田神社)の地に和世田神を勧請し新しく社殿を再建したと言われている。

また、明治の末頃には、これまで古宮に鎮座していた保食命・火見命も和世田神社に合祀され移転したが、その後火災が多く発生し

災害が続いたため、火見命の祠を古宮に戻し現在のように高く修築され、火災から守る火伏せの神として祀られるようになった。

これ以降この古宮の地は、秋葉神社と呼ばれるようになった。

今では毎年11月にこの祠の前で防火祭を開催し安全祈願をしたあと、防火・防災の訓練を行っている。



しゃばえんびつ



「自地区の活性化と古牧地区の活性化」

皆さんの地区でも同様の問題が出ていると思いますが、区の役員、公民館の役員の成り手がいないということが大きな課題となっております。

区、公民館の役員以外にも東和田区の神輿保存会(大人神輿)の相談役をしていますが、会員数約60名に対して、神輿巡行に参加される会員は約30名と神輿1基を担ぐのにはギリギリの人数となっております。区内の巡行中は担ぎ通しの人が3分の2をしめている状態です。

会を開設以来約40年「担ぎ手は自区民に限る」と謳っておりましたが、会員の巡行時の参加者減と高年齢を理由に、昨年度より長野市内の他地区の神輿保存会の応援をお願いし約10名ほどの参加を頂き巡行も大分楽になり活性化されました。

古牧地区にも神輿は有るが担ぎ手がいなく、神輿が眠っている状態の地区が有ると思いますので、ご一報頂ければご支援したいと思いますし、古牧地区の活性化の為に協力したいと思います。

(人権・男女参画部 中村 進二)

7月から8月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和7年6月1日現在

11,958 世帯

26,009 人

(男 12,848人 女 13,161人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 柴 芳夫
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 旬小池印刷



HP
ご覧ください